

# 市立美術館特別展

## 明治水彩の隠れた巨匠—五百城文哉作品展

水戸市出身の五百城文哉（1863～1906年）は、明治時代に活躍した洋画家です。その作風は文字通りの「写生」であり、丹念に描かれた風景画や植物画は、水彩画特有のみずみずしさを保ちつつも見る者を圧倒するような、カラー写真を凌駕する出来映えを誇っています。

本展では、水戸市立博物館が所蔵する五百城の風景画と、同館に寄託されている代表作「高山植物写生図」（個人蔵）を一堂に紹介する展覧会です。水彩画という新しいジャンルを切り開いた一人としても知られる五百城の世界をお楽しみください。

**会期・時間** 4月11日（土）～5月31日（日） 午前9時～午後5時（入館は4時30分まで） ※毎週月曜日（5月4日を除く）と5月7日は休館

**主催・会場** 青梅市立美術館 協力 水戸市立博物館

**観覧料** 大人500円（400円）、小・中学生100円（80円）

※（ ）内は20人以上の団体割引料金、障がい者手帳をお持ちの方と付き添いの方1人（障がい者手帳を提示）は無料、市内在住の65才以上の方（免許証、保険証など住所と生年月日のわかるものを1人ずつ提示）は無料、市内の小・中学生は土曜日無料

### 会期中のイベント

#### ★ゲスト学芸員によるギャラリー・トーク

五百城作品を多数所蔵し、五百城文哉展を開催した経験を持つ、小杉放菴記念日光美術館学芸員の迫内祐司氏をお招きし、五百城作品の魅力についてお話いただきます。

**日時** 4月19日（日） 午後2時から（1時30分受付開始）

**定員** 先着20人程度 **費用無料**（要観覧券） **直接会場へ**

#### ★当館学芸員によるギャラリー・ガイド

**日時** 4月26日（日）、5月23日（土） 午後2時から（1時30分受付開始）

**定員** 先着20人程度 **費用無料**（要観覧券） **直接会場へ**

### 関連イベント

#### ★奥多摩さんぽ～山野草見学&テラリウムづくり～

ネイチャーガイドの案内で、奥多摩にこの時期に自生する山野草を見学し、昼食後にテラリウム（ガラスの器に苔を入れたもの）づくりに挑戦します。

**日程** Aコース…4月22日（水）、Bコース…5月16日（土）

**時間** 午前10時JR奥多摩駅集合～午後3時30分同駅解散

※少雨決行、荒天中止

**対象** 高校生以上 **定員** 各コース先着18人（予約制）

**費用** 4,000円（ガイド代、テラリウム教材代、保険代 ほか）

※集合場所まで・解散場所からの交通費は自己負担

**服装・持ち物** 歩きやすい服装、滑りにくく履きなれた靴、帽子、昼食、水筒、タオルなど

**主催**（一財）おくとま地域振興財団（〒198-0212奥多摩町氷川215-6奥多摩町役場地下2階）☎0428-83-8855（月～金曜日の午前9時～午後5時）、東京都知事登録旅行業第2-6417号

**申し込み** 同財団ホームページ <http://okutama-therapy.com/> 参照のうえ、申し込みフォームから（郵送、電話による申し込み不可）



五百城文哉「高山植物写生図 カタクリ」水彩／紙、明治時代、個人蔵、後期展示



五百城文哉「日光陽明門」水彩／紙、明治時代、水戸市立博物館蔵、通期展示

### 見どころ

▷会期中に一部展示替えを行います。後期展示は、5月8日（金）からです。

▷五百城と同時代に活躍した水彩画家・大下藤次郎「万年橋」（市指定文化財・当館寄託）も併せて展示します。

▷展覧会図録として、水戸市立博物館作成の『やわらかな光と花に満ちた世界 五百城文哉の水彩画』と『五百城文哉 高山植物写生図』のセット、当館作成の五百城文哉絵はがき8枚セットを特別販売します。

**問い合わせ** 市立美術館 ☎24-1195（午前9時～午後5時）

※展示替え等のため、4月10日（金）まで臨時休館となります。

### 食育一口メモ

#### 4月3日は葉酸の日

葉酸は、水溶性ビタミンB群の1種で、赤血球をつくる際に必要のため、「造血のビタミン」と言われることもありま。ほうれん草などの緑黄色野菜や納豆などの豆類、いちごなどのほか、レバーなどに多く含まれています。

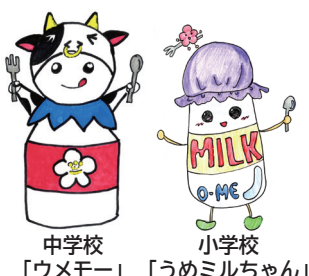
また、多くの研究結果から葉酸の摂取と脳卒中や心筋梗塞などの循環器疾患の予防効果との関連性が示されています。葉酸は、光に弱く、日の当たる場所に放置すると分解してしまうため、購入した野菜等は早めに食べるようにしましょう。

**問い合わせ** 健康センター ☎23-2191

### 学校給食イメージキャラクターの愛称が決定しました

学校給食センターでは、学校給食に親しみを持ち身近に感じてもらうため、平成30年度に市内小・中学校に在学する児童・生徒を対象に、青梅市の学校給食をイメージしたキャラクターのデザインを募集しました。

愛称を命名した児童・生徒には、青梅産杉の間伐材を使用したところ、小学校193点、中学校12点の応募があり、予備選考と一次選考を経て、児童・生徒による投票の結果、小学校は「うめミルクちゃん」、中学校は「ウメモー」に愛称が決定しました。



中学校「ウメモー」 小学校「うめミルクちゃん」

### 青梅市まるごとアート支援事業の募集

市では、自主的な文化芸術活動を行う団体の事業を支援しています。

▽申請：4月30日までに市立美術館で配布（郵送）電子メールによる送付可）する申請書に必要書類を添付して直接市立美術館へ

①文化芸術活動を通じた集客・交流の促進、人材育成、子どもたちが参加する文化芸術活動等、地域活性化やアートによるまちづくりに寄与すること

※日程は事前相談時に調整 ※申請書の郵送不可

②原則として、事業が青梅市の区域内で開催され、

▽事前相談：4月17日まで 市立美術館へ

問い合わせ 市立美術館 ☎24-1195